１．件　名：日本原子力発電株式会社東海第二発電所緊急時対策支援システムにおける風向・風速パラメータ名称の表記の誤りについて

２．日　時：令和4年1月24日　18:40～18:55

３．場　所：原子力規制庁3階　室内会議卓

４．出席者

原子力規制庁　緊急事案対策室
　和田専門職
（以下、テレビ会議システムによる出席）
原子力規制庁　緊急事案対策室
　澤村防災専門官、
日本原子力発電株式会社
　発電管理室　警備・防災グループ　課長他2名

５．要　旨

　日本原子力発電株式会社から、東海第二発電所緊急時対策支援システム（以下「ERSS」という。）において、東海第二発電所の事業者防災業務計画に基づき「風向（81m）」及び「風速（81m）」を測定しそのデータを伝送しているが、データポイントライブラリ（以下「DPL」という。）上「風向き（71m）」及び「風速（71m）」としていたことから、ERSSの画面上誤った表示となっている旨説明があった。（資料1）

　原子力規制庁から、修正したDPLを速やかな提出、再発防止対策の徹底を求めた。

　日本原子力発電株式会社から、本日の面談を踏まえ、対応していく旨回答があった。

６．その他

配布資料

資料１：東海第二発電所 緊急時対策支援システム（ERSS）における風向・風速パラメータ名称の表記の誤りについて